

- ・巻頭コラム(杉浦 良)
- ・お知らせ(柳澤監督映画祭、テナプラ廃油粉石鹸終了、鮎喰川クリーンアップ、シカ肉カレー)
- ・ご協力者名簿／編集後記

NPO法人 太陽と緑の会

かわら版

205号/2024.6

▶ Since 1984

「40年目の総会」

杉浦 良

6月15日(土)午後6時半から太陽と緑の会2Fの面談室(研修室・休憩室兼用)にて太陽と緑の会総会を行いました。今回は1984年月の宮作業所開設前の元豚舎画像から今の月の宮作業所風景、国府ソーラーパネルの発電量(2024.6.13現在)29万1274kwhが表示されたデータパネル、H12年登録H14年から使用した軽ワンボックス(19万3000km走行)に代わって、新たに導入したH28年登録軽トラの写真など120枚を、10秒間スライドショーで見させていただきました。

今は亡き創立者近藤文雄、櫛田月の宮作業所所長、三木リサイクル作業所所長の姿や、現在理事として関わるT氏やM氏の若き頃、かつて体重100kオーバーを誇ったYさんや30代のNさんなど、映し出される画像が思い出と懐かしさを引き寄せ、今に繋がります。



ごみゼロ活動～鮎喰川クリーンアップを30年近く続けてきました

「・・・今年8月で40年となります。27周年記念誌（1000部）を2012年1月に出しましたが、その後の13年をまとめて40周年記念誌（500部）を出そうと考えています。前回は400ページほどでしたが、今回はその半分のボリュームになる予定です。また今年8月25日（日）藍住町総合文化ホールで、柳澤壽男監督福祉ドキュメンタリー最終作『風とゆききし』1989年を上映します。今までと違い154分の長編なので、10時と13時半の2回上映はタイトな時間配分となります。小西さん（北島町創世ホール元館長）にお世話になった2020年からの映画会も、今年5回目で最後となります。柳澤監督の奥様より頂いたカンパで、今回関係者にはお弁当以外にケーキでも付けようかと考えています・・・」そんな話の展開になりました。参加者の現在の近況報告も交えながら、今後の方向性を探ります。

「・・・パートスタッフも高齢化し・・・なかなか手一杯になってきたので・・・シルバー人材センターの活用とか・・・いろいろ対策を考えたほうが良いのでは・・・電化製品売場も入口に品物が一杯で、間違っって修理コーナーに来られるお客さんも多い・・・専任スタッフMも回収や搬入など作業が手一杯では・・・」

「・・・修理コーナーやストックヤードは去年私が全部片付けましたが・・・気が付くと元に戻っています・・・段取りを考えて整理整頓ができてないので・・・気が付いた人はスタッフKに言ってください・・・値段付けが一番時間がかかるので・・・各スタッフの役割を広げることを既に始めています・・・」

「・・・40年も経つと私も70歳になりました。今年からシフトダウンして給料を半分にし、新しい専任スタッフを捜すことにしました。人手不足でなかなか見つけにくいかもしれませんが、皆さんの知り合いでいい人がいましたらご紹介下さい。すぐに結果を求めることはしなくても良いので、その人の良さが上手く活かせて、こちらの活動の広がりにつなげれば有難いと思います・・・」

「・・・メンバーについても、今までやっていた仕事が、歳をとって難しくなった方、他の事業所・作業所で挫折した方なども受入れたいと思います。こちらも心掛けていただければと思います・・・」

40年目の総会もあれこれ話合っているうちに、気が付けば21時近くになりました。自転車で訪れたT理事が竹製の大きなザルを当会で見つけ、購入してくれました。

外は雨。リアキャリアーに大ザルをくくりつけて帰る後ろ姿に「・・・事故には気を付けて・・・近藤先生や櫛田氏の所に、早くいくのはやめてくれよ・・・」と声掛けをしました。夜の帳に、冷たくない雨粒が降り注ぎます。「・・・近いし、濡れてもいい雨だから・・・大丈夫・・・」そんな返事が返ってきて、総会終了となりました。

お知らせ

鮎喰川 クリーンアップ

毎年5月30日を中心に4月から6月上旬までの間に、エンジン付き刈払機で道路端を草刈りした後、缶詰・ペットボトル・弁当空容器・タバコ空箱・お菓子の空袋等のポイ捨てゴミを回収する活動を30年近く続けてきました。

今年は4月21日から5月30日にかけて行いました。

昔と比べると捨てられたゴミの内容が全く違います。車やタンス、冷蔵庫、洗濯機、テレビ、マットレス、布団など、これでもかと言うほどひどかった昔と比べれば、今は本当に可愛いものです。

今回は、四半世紀は充分前のレトロ刈払機にチップソーを付けての草刈りです。プライマリーポンプや燃料パイプ等は交換し、キャブのオーバーホールはしましたが、カワサキの20cc 2ストエンジンには50対1の混合ガソリンで快調。

サクラノボの贈り物

平成10年度一年間ボランティアとして当会で活動してくれたEさんから立派なサクラノボが届きました。

創立者の近藤文雄の逝去に伴う代表者の変更（当時はまだNPO法人制度がなく、当会は任意団体だったので手続きだけでも大変でした）、隣接する工場の火災による類焼、バングラデシュからのアジアボランティア受け入れなど、激動の年に、20才の若さで福島から徳島に来てくれました。

活動が終了して四半世紀になる今でもこうしてお心遣いをして下さり、本当に嬉しく思います。

天ぷら廃油粉石けん 当会での取り扱い終了

今から33年前、「1000リッターの天ぷら廃油を滋賀県大津市にあるマルダイ石鹸に持ち込んで1500キロの粉せっけんに蘇り、それを徳島の皆さんに使ってもらおう」という活動を始めました。

徳島でも天ぷら廃油を回収し、リユース・リサイクルできないか？との思いから、始めたものです。

平成19年(2007年)、徳島でも天ぷら廃油をディーゼル燃料(BDF)に再生する事業が立ち上がったことから、天ぷら廃油をマルダイ石鹸に持ち込むことをやめました。

ただマルダイ粉石鹸(3キロ袋)の販売を希望する声が大変多かったため、本来のリユース・リサイクルとは異なるものの、「粉石けんを大津から送ってもらおう」という形で販売のみを継続することに致しました。

それから17年が過ぎました。残念ですが、そろそろ区切りの時期と判断し、マルダイ石鹸の販売をやめることにしました。

これまでご利用下さった皆様に感謝申し上げます。



柳澤監督映画祭

第5回柳澤壽男ドキュメンタリー映画祭を開催します。

柳澤福祉ドキュメンタリー5部作を徳島で5年間かけて上映するというプロジェクト。令和2年から毎年夏に開催してまいりました映画祭も今年が最後となります。

今回上映するのは「風とゆききし(1989年(154分))」。1980年に福祉とリサイクルをリンクさせた活動をスタートした「盛岡市民福祉バンク」を舞台としたドキュメンタリー作品です。

有料チャンネルや動画配信サービスでもなかなか視聴する機会のないこの作品。皆様のお越しをお待ちしております。

日時 令和6年(2024年)8月25日(日)

①10時~12時45分

②13時30分~16時10分

入場料 300円(資料代含む)

(予約不要。当日頂戴いたします)

会場 藍住町総合文化ホール大ホール

(徳島県藍住町奥野字矢上前32-1)

主催 徳島で柳澤壽男監督作品を見る会
(代表 NPO法人太陽と緑の会)

共催 藍住町総合文化ホール

作業所連絡協議会

6月1日(土)午後1時半より第28回徳島県障害者地域共同作業所連絡協議会総会を、徳島市の太陽と緑の会リサイクル作業所(地域活動支援センターⅢ型)で行いました。太陽と緑の会の新館2F面談・研修・休憩室を使い「太陽と緑の会の40年を巡る」と題しての研修会も併せて行いました。「障害者地域共同作業所」という福祉6法・福祉8法にも言葉が見つからない貴重な連絡協議会の事務局もここが兼ねています。

研修会、総会の後、各作業所・事業所からの近況報告や課題など、終了予定時間をオーバーしての充実した時間を過ごすことができました(10ヵ所参加)。

シカ肉カレー

正会員12名の皆様が参加した通常総会も無事終わり、日常業務の合間に、NPO法人としての所轄庁への報告書作成も完了させました。メンバーさんとあれこれ話しをしながら、リユース品の値段をつけ、合間にデスクワークもやる、というのが、事務職員の存在しない太陽と緑の会の日常です。

今日の昼食は上勝町のSさんから頂いたシカ肉を使ったカレー。代表の杉浦曰く「Sさんから頂いたシカ肉は血抜きを上手にやっているから臭みがないんだ」とのこと。石井町の兼業農家Sさんから頂いたジャガイモ、パート職員のKさんが持ってきてくれた玉ねぎも使って美味しいカレーが出来上がりました。

シカ肉のカットはメンバーのTさん、ジャガイモのカットはメンバーのOさん、カレーの調理はメンバーのKさんが担当。カットした玉ねぎは調理前にボールに入れて水にさらす、といった細かい芸当もサラッとこなすKさん。「こうやった方が美味しくなるよ」というスタッフからのアドバイスを、山程の文句を言いながらも実践し、自分のものとしてきました。相変わらず言葉遣いは乱暴ですが作業は丁寧なKさん。30も後半になって一皮むけてきた感があります。

Sさんありがとうございました。

(6月16日Facebookより)

当会の活動をご支援下さった皆様

§ 2024年2月1日～2024年5月31日 § (紙面の都合上、敬称は略させていただきます)

ご寄付を下された皆様

福井、福井、匿名、匿名、友成、清田、安芸、都築、板東(郵便振替口座) 榎本、匿名、石堂、三木

品物を持って来て下さった皆様(郵送含む)

○徳島市○前林、松下、泉、宮田、クボキタ、北井、榎本、浜崎、星野、織田、萩原、斉藤、朝田、大島、近藤、梅田、小松、蒲原、吉富、小濱、原田、なむなむ堂、岩田、森、佐々木、西山、河野、安岡、笠井、池田、市原、樋口、西川、横山、久保、粒山、後藤田、谷川、三木、吉田、月岡、宇山、新居、久米川、栗谷、長瀬、山岡、森下、ササガ、後藤、内田、林、大西、中垣、尾崎、坂東、山田、小野原、黒嶋、杉浦、福永、田中、清水、多田、織田、沖洲放課後クラブ、四宮、吉岡、林、野中、富永、菅原、加納、山本、片岡、木下、雲財、森東、尾田、西岡、三好、ホリウチ、大西、栗林、片寄、斉藤、岩佐、中村、原、カーマイケル、立石、元木、佐野、布川、後藤、西、芥川、原田、今井、北山、東條、長瀬、柳生、佐藤、井上、村上、田村、上山、福島、前田、齊藤、漆川、藤野、宮内、中山、大和、本田、野口、堀井、沖津、杉山、渡部、宮内、田所、藤本、島野、渡辺、キシ、干田、鈴木、三松、岩代、住友、糸林、瀧、小池、元木、高尾、ホリウチ、弘田、飛田、疋田、祖父江、穂田、佐野、荒木、木村、岸本、藤岡、厚美、ウメハラ、北、井上、宮金、清水、相根、青木、日切、井内、安喜、瀧、新田、松本、尾崎、福永、木山○鳴門市○川久保、山田、高田、東條、前田、筒井○石井町○天羽、仙谷、堀江、村本、藤原、山本、田中、芝、長嶺、秋月、谷、友竹○神山町○大和、高田、佐條、國本、森、畔永、武久、高橋、佐々木○小松島市○平田、姫田、徳政、清井、榎原○阿南市○服部、松崎、久保、藤原、北岡○阿波市○石井、大島、武田○美馬市○山本○吉野川市○平島、金城、鎌田、中野、守松、阿部、小松○藍住町○古川、秋月、犬伏、蔭山、十川、熊本、喜多、吉本、納田、平岡、中村、井上、誉田、福山○勝浦町○ヴィアーストラータ○上板町○渡邊○松茂町○岩本○板野町○正久、稲垣、阿部○三好町○仁尾○牟岐町○坂本○北島町○パク、森、舟越、天野○つるぎ町○安永○佐那河内村○原、内野○その他○割石
○神奈川県○高坂○埼玉県○亀倉○大阪府○水野○愛知県○松浦○岡山県○高橋○愛媛県○浜田○香川県○富島○福岡県○永峰

品物を引き取りにお伺いさせて頂いた皆様

○徳島市○カラオケ歌ハウス、井内、山田、今井、斎藤、川口、中家、福井、西崎、岸、元木、吉岡、佐藤、スマイル調剤薬局、坂東、河崎、山本、南、坂井、森川、吉富、大櫛、大櫛内科、福永、ファミリーマート富田橋、福原、久次米、鈴木、福本、吉田、藤田、田中、川崎、三木、出口、福井、岡久、塩津、椎野、松本、梅枝、池田、小林、島田、吉本、穂田、庄野、三田、七條、真鍋、英、北野、乾、椎野、近藤、山上、横田、松浦、中西、八木、蔵谷、山本、喜多機械産業、大北、中村、高倉、妹尾、長野、宇治製薬、村上、久米川歯科、赤谷、阿部、阿波銀住友生命ビル、梅寿、多田羅、佐川、島村、川原、福井、松岡、英、穴吹コミニティー、立石、岡田、田村、内田、大谷、吉成、渡辺、舘野、(株)ライフリビング 松友、谷越、瀧、中村、森本、和泉、斎賀、金谷、落合、秋園、宮本、曾我部、コートダジュール虹の橋、津田、稲井、福島、明石、クレール、納田、谷、福原、大和リース、桑村、栄寿司、増田、森、富永、宮越、領家、澤野、木下、デグチ、吉川、宮迫、岡本、松浦、イヌイ、大和、佐伯、羽田、宮本、中島、尾崎、藤田、横山、幸田、多田、篠原、増田、檜、河野、楠、土肥、川村、井口、浮津、山田、吉岡、庄野、堀井、高野、穴吹ハウジング、立川、元木、美馬、近藤、岸、広野、高木、小野木、芋生、中田、玉置、庄野、遠藤、石原、仁尾、宇治、長野、一宮、米原、池村、中村、豊田、林、

後藤、橋本○鳴門市○久龍、堂下、大森、綾羽、鳴門市役所、今井、西條、平尾、団○小松島市○木下、島原、前島、儀宝、本田、西原○石井町○大村、上久保、藤井、柳本、櫛田、遠藤、三木、西川、山崎、島、友成、古谷○吉野川市○桂、岡田○藍住町○花木、阿部○北島町○齋賀○上板町○大坂、近藤、岡本○松茂町○山本○板野町○高田

いつも当会の活動にご支援ご協力頂き、ありがとうございます。ニンジン、ジャガイモ、サツマイモ、里芋、シイタケ、トウモロコシ、ブロッコリー、インゲンマメ、キャベツ、白菜、ほうれん草など、旬のお野菜やお米を持って来て下さった皆様、お飲み物やお菓子、自家製の梅酒や梅干し、ラッキョ漬けなどを下さった皆様も有難うございました。お野菜やお米は作業所の食材として大切に使用させて頂いております。諸物価が高騰している中、本当に有難いです。また浄土真宗のお寺（尊光寺等）の皆様からの食料品・調味料等を、フードロス活動で竹條さんが持ち込んで下さいました。

品物を持って来て下さった皆様の中には、「何回も来て、書いているので」「名前は結構ですから」と、お名前を書かずに帰られた方も多数おられます。頂いた品物は大切に活用させていただきます。リユース・リサイクル可能なものがございましたら、ぜひお電話下さい。※本誌へのお名前の掲載を希望されない場合は「匿名希望」とご記入頂ければ幸いです。

定休日のお知らせ

7月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

8月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

9月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

10月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

定休日

※働き方改革の関係で、お休みが長めになっております。

編集後記～ダイバーシティ(多様性) って何

太陽と緑の会には様々なハンディを持ったメンバーさんが通ってきています。ハンディの種類も身体・知的・精神と様々で、年齢も30代から70代までと幅広く、男性もいれば女性もいます。できることとできないこと、得意なことと苦手なこと、好きなことと嫌いなこと、性格もひとりひとり違います。

また同じ人でも、いつも同じ顔を見せているわけではありません。相手によって見せる顔は異なるし、体調や精神状態によっても表情が異なったりします。「〇〇さんはこういう人だ」などと簡単に言えないからこそ、人間は奥が深いのでしょう。

そんなこと当たり前の、誰でも知っていることかもしれませんが、ただ「どういう人が分からない」という不安定な、心が宙ぶらりんで落ち着かない状態に耐え続けるより、単純化して決めつける方が精神的には楽かもしれません。

「決めつけるのはいけないことだからやめよう」などと思ったところで、自分の内面を完璧にコントロールすることは難しいでしょう。「今自分は少し決めつけているところがあるかな」と気づくことはできるかもしれない。そのぐらいの緩やかなバランスの方が長続きするかもしれません。

「偏見や固定観念はよくない」

タテマエではそうかもしれませんが、ただ残念ながら、無意識の偏見(アンコンシャス・バイアス)や固定観念を持っていない人はいないのではないかと、思います。

例えば初対面の人に会ったとき、その人がどんな人なのか、限られた情報から判断して

いくことになるかと思いますが、その段階ですでに偏見、固定観念というものが介在してきます。「人は見た目が9割」などと言うとビジネス書のタイトルのようですが、外見は重要な判断材料となります。しかし外見で人を判断するということ自体が偏見に基づくものです。

「ボクと同じ年頃の、中年の病院の職員らしき男性が首に手ぬぐいを巻き、着古した背広を作業着にして、花壇の手入れをしていた。

『お約束は戴いておりませんが、病院長にお目にかかりたいのです。何処でお願いすればいいのでしょうか。』と聞いた。

『玄関に入って左側に受付があります。そこに申し出て、二階の院長室に案内してもらいなさい。』と返事が返ってきた。受付の青年がスリッパを揃えてくれた。

『これが国立病院の院長室か?』

本棚に医学書が並んでいるだけで、これといった装飾のない質素な部屋であった。暫く待った。さっきの中年の男性が入ってきた。

『院長の近藤です』と挨拶された。

ボクはあわてふためいた」

(太陽と緑の会かわら版59号(1994年))

柳澤壽男映画監督の寄稿文の一節で、当時仙台の国立西多賀病院の病院長だった近藤文雄(のちの太陽と緑の会創立者)の人となり伝わってくるエピソードです。

偏見という言葉には否定的なイメージがありますが、「その人がそれまでの人生の中で見聞きしてきたことや成育環境などを背景とした思い込み」くらいに考えてみると、至る所に存在するもののように思えてきます。

「誰か男の人おらんで?」という声。

お買い上げになったリユース品を車まで運んでほしいというお客様がおられました。

「力仕事は男性の仕事」という性別役割文化の名残かどうかは分かりませんが、幼少の頃から己の心身に染み込んでいる価値観というものは、誰にでもあるものです。

ちなみに作業所の男性のメンバーさんは、冷蔵庫やタンス等の重いものも持てる体力自慢のメンバーさんといえば、軽い物を持つのがやっとというメンバーさんもいます。「物を運ぶのはしんどいから嫌だ」と言うメンバーさんもいます。男性のメンバーさんがそれを言ったら「男らしくない、男のくせに」と非難されるでしょうか。

「AさんがBさんに暴力をふるった」という話を聞いた時、このAさんとBさんの性別はどちらだと思いましたが。というと、テレビで目にする公共広告のフレーズみたいですが、身長148cmの女性のメンバーさんが175cmの男性職員に向かって罵声を浴びせながら飛びかかり、着ていたTシャツをビリビリに引き裂き、腕に歯形が残るほど強く噛みつく、というケースが実際にあります。

(何か怒らせるようなことを言ったのだろう、という邪推も無意識の偏見に基づくものと言えるでしょう)

ダイバーシティ(多様性)という言葉を目にすることが増えたように思います。「多様性を尊重する」などと言ったりもしますが、「暴力の加害者は男性」という多数事例の存在をもって少数事例の存在に目をつぶる、少数を無視して一般論で物を語る、ということは多様性を否定することです。

多様性の尊重は、百人の持つ百の正義がぶつかり合う熾烈な戦いの幕開けであり、自分と異なる相容れない価値観も認め、折り合いをつけていく実に難しい営みだと思えます。容易にできることではなく、長い年月をかけて、時には数世代かけて変わっていく、というものもあるでしょう。

思い込みを否定したり、すぐに変えたりすることは難しいと思えます。ただ、思い込みに気づくことはできるかもしれない。「慌てず、焦らず、諦めず」「できること、気づいたことから少しずつ」という緩やかなスタンスで持続していくのが「ええ塩梅」なのかもしれない、と思う今日この頃です。(文責・小山)

NPO法人 太陽と緑の会

私たちは、「人も物も活かされる街づくり」をテーマに、ハンディのあるなしに関わらず「地域の中でその人がその人の足で立ていけること」を目指し、様々な方々(市民、ボランティア、行政)の支えを頂きながら土、日を含めた日常活動を行っています。

これは、日本の次世代型ソーシャルアクションモデルになると考えています。このような活動のあり方により、徳島の将来や日本の未来が、幸多く豊かであることを願っております。

発行:NPO法人 太陽と緑の会

〒779-3120 徳島市国府町南岩延 107-1

TEL・FAX 088-642-1054

代表理事 杉浦良 編集 小山 隆太郎

ご協力者名簿作成担当メンバー 岡田

宛名シール添付担当メンバー 堀

製本・発送作業担当メンバー 岡田

年会費: 正会員 1万円 (総会議決権)

準会員 1,000円 (機関誌発送のみ)

郵便振替口座

01620-8-44703

加入者名: 特定非営利活動法人太陽と緑の会